

第 28 回

全日本高等学校・

中学校オリエンテーリ

ング選手権大会

観戦ガイド

～インタビュー篇～

# 【各校データ】

## 桐朋中学・高校

桐朋高校は伝統的に団体戦が強い学校のはずである。過去には6年連続優勝も果たしているのだから。近年では、佐藤雄太郎選手、澤口弘樹選手、坂梨敬哉選手、柴沼健選手といった優秀な選手を輩出している。選手層が厚い今年、王座奪還なるか注目が集まる。

・過去の成績 : 個人戦 8 勝, 団体戦優勝回数 9 回

優勝者 OB : 鹿嶋田浩二(第 1 回 ME 優勝者)、永田芳樹(第 2 回)、山田高志(第 13 回、14 回、15 回)、柴本浩児(第 16 回)、斎藤翔太(第 18 回)、柴沼健(第 26 回)

## 麻布中学・高校

麻布中学高校は第 1 回インターハイから参加し続けている古豪である。近年では、尾崎弘和選手、野本圭介選手、濱宇津佑亮選手、大田将司選手を輩出している。個人戦優勝回数では、桐朋高校と並び 1 位である。今年個人戦で優勝すれば、7 年ぶりの快挙である。また、中学生に関しても、団体戦で負けなしの東海中学から優勝を奪うか注目が集まる。

・過去の成績 : 個人戦 8 回, 団体戦 8 回

・優勝者 OB : 荻原健さん(第 3 回 ME 優勝者)、榎本和弘(第 7、8 回)、岡俊彦(第 10 回)、川上崇史(第 11、12 回)、尾崎弘和(第 22 回)

## 東海中学・高校

東海中学高校は約 10 年前登場して以来急速な成長を遂げ、現在、団体戦 5 連勝中である。他校をまったく寄せ付けていない。近年では、堀田遼選手、深田恒選手、宮西優太郎選手、橋本知明選手、長谷川望選手、稲森剛選手といった選手たちを輩出している。近年の勢いそのままに、団体戦優勝回数で 1 位の桐朋高校に並ぶかが注目される。

- ▶過去の成績：個人戦 6 勝，団体戦 8 勝
- ▶優勝者 OB：山倉貴之（第 17 回 ME 優勝者）、近藤康満（第 23 回）、宮西優太郎（第 24 回）、長谷川望（第 27 回）、稲森剛（第 28 回）、

## 武相高校

武相高校は神奈川県で唯一のオリエンテーリング部として活動している。武相高校の宇野兄弟はインターハイの歴史にその名を刻んでいる。今年のインターハイでは団体戦での活躍が注目される。また、顧問の橋本先生はオリエンテーリングの選手として活動している。

- ▶過去の成績：個人戦 2 勝
- ▶優勝者 OB：宇野夏樹（第 19、20 回）

## 浦和高校

浦和高校は復活してからわずか 4 年の新星である。今年 3 月に行われたクラブ対抗リレーで優勝、選手権クラスに 2 人の選手を輩出するなど、飛躍を遂げている。新生浦和のインターハイの快進撃に関心が集まる。

- ▶過去の成績：団体戦 1 勝

# 【IH 出場選手紹介】

関東セレクション通過 12名





七位  
原万尋(桐朋高校)



八位  
小崎舜真(麻布高校)



九位  
伊藤統(麻布高校)



十位  
斎藤直希(浦和高校)



十一位  
幅 裕斗(浦和高校)



十二位  
山野薫(桐朋高校)

# 【IH 出場選手紹介】

関西東海セレクション通過 8 名





七位  
田中駿太郎(東海高校)



八位  
熊田悠人(東海高校)

# 【IH 有力選手紹介】



椎名晃丈  
東海高校二年  
準備は万全、  
あとはカツコよく  
優勝するだけ

Data

---

競技歴5年

---

昨年度インターハイ個人戦ME6位

---

3000m10分30秒(一年前)、5000m18分5秒(10ヵ月前)

---

今はトラックでももっと速く、不整地ではもっとも一つと速いぞ!!

---



<選手紹介>

椎名選手はTwitterで有名であり、大学生の間でもそのtwitterの熱さで知名度が高い。しかし熱いのはtwitterだけでは無い。椎名選手は早くからこの学年を代表する選手として活躍していた。彼が中1の11月に関西の難トレイン東青山で行われた三重スポーツフェスティバル大会では、最高位クラスに出走し見事完走していたり、中2の時にはインターハイの中学生選手権で準優勝したり、している。中3の時のインターハイでは満足なレースが出来なかったようだが、翌年、高1のインターハイでは個人戦MEで6位入賞をし、団体戦では一走として良い仕事をして東海高校の優勝へつないだ。そして椎名選手は研究熱心であり、英文の物も含めてオリエン関係の文献を読み漁り、レースをアナライズしてどうすれば速く確実にナビゲーションが出来るのか研究している。そのアナリシスノートは、もう口冊にも達しているという。インターハイでの目標は「先輩方のようにカッコよく優勝すること」。要注目である。

東海高校OB 稲森剛

<彼のオリエンのポイントはコレ！>

彼は特に足が速い。足の速い桐朋高校の選手たちと走力においても十分互角に渡り合えはずだ。その走力を存分に生かしたオリエンをしながら、メリハリのあるスピードの切り替えとスムーズなオリエンを目指してるそうだ。夏は駒ヶ根対策として直進の精度向上に努め、大幅に直進が上手になった。その準備の成果は先週行われた名相大会で感じられたと言う。足は速い・スピードの切り替えができる・スムーズ・直進ができる。あとはミスをした時のリカバリーが出来れば優勝はすぐそこだろう。

<応援コメント>

まずは落ち着いて、波に乗って駒ヶ根を駆け抜けてこい！

東海高校OB 横江薫

名相大会に続いて表彰されに行ってくい！！金色以外は興味無いんだろ！！！！

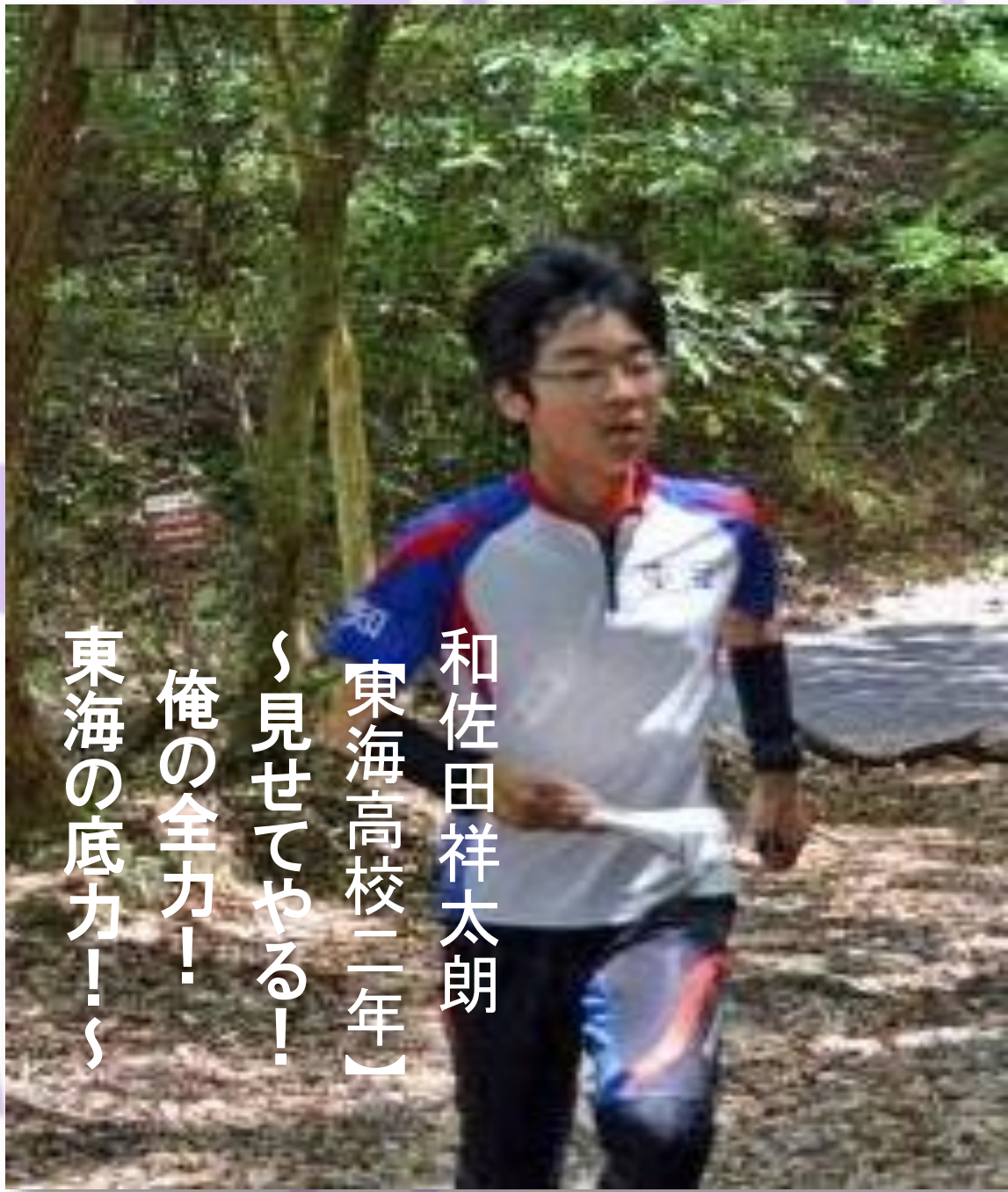
東海高校OB 澤田潤

インハイでも恋愛でも結果残して頂点へ！

東海高校OB 二村真司

あの娘のことを考えるのは表彰台に登ってから！

東海高校OB 長谷川望



和佐田祥太郎  
東海高校二年生  
〜見せてやる!〜  
俺の全力!  
東海の底力!〜

*Data*

---

競技歴 5 年

---

昨年度インターハイ個人戦 ME 7 位

---

3000m 11 分 20 秒(今なら 11 分くらいで走れる!!)

---

### <選手紹介>

東海高校のダブルエースの一人、また筆者の一番弟子でもある和佐田祥太郎選手。和佐田選手は昔から誰にも負けない熱心さでオリエンテーリングに取り組んできた。オリエンを始めた中1の頃はそれほど速くなかったが、持ち前の熱心さと行動力で先輩方から多くの事を吸収し、そして中3になる頃にはこの学年を代表する選手の一人となった。昨年のインターハイ個人戦では惜しくもラスト3コントロールの所で入賞圏内から脱落し7位という結果に終わった。上の代が抜けた今、和佐田選手にとって優勝は十分射程圏内だろう。最近ではプレッシャーに悩まされているようだが、プレッシャーを受け入れ、自分のすべきことを見失わずに冷静かつ熱い走りで表彰台のてっぺんに立つ姿を見せてほしい。

東海高校 OB 稲森剛

### <彼のオリエンのポイントはコレ！>

和佐田選手にとって、昨年のインターハイから一年間で最も伸びたことはコンパスを扱う技術であり、不整地を走るのもうまくなったそうだ。また、夏の合宿では、歩測や遠くを見ることの練習を積んだ。そして現在の彼のオリエンのスタイルは『ヒミツ』だそうである。彼は元々、フィジカルはあまり強くない、安定した技術力で押していく選手である。その彼がさらに技術力を高めたと言うのだ。きっと素晴らしいオリエンテーリングを見せてくれるであろう。

### <応援コメント>

横江ファミリーの底力を見せつけてこい、ゴールで待ってるぞ！

東海高校 OB 横江薫

どこぞの足が太い師匠が走れなかった駒ヶ根の地を制してこい！

東海高校 OB 澤田潤

君なら優勝できる！駒ヶ根でも勝つんだわさ@(・●・)@

東海高校 OB 二村真司

師匠に続いて狙え優勝！

東海高校 OB 長谷川望



国沢 楽

【桐朋高校二年】

「世界を経験した国沢、

インターハイを制するこ

とはできるのか」

#### Data

---

二世オリエンティア

---

昨年インターハイ個人戦 ME 11位

---

1500m 4分40秒切るくらいですかね～

---

#### <選手紹介>

今年 JWOC に出場した注目選手。今年度のインターハイ ME クラス出場者で JWOC 出場経験があるのは彼のみ、優勝候補と呼ばれるのにも十分な成績は持っている。技術や走力も高く評価される国沢選手だが負けず嫌いで勝負強いのも彼の大きな強み、このインターハイの勝ちにこだわる気持ちも人一倍強いだろう。夏にはインターハイへ気持ちを切り替えるためか髪をバツサリと切った。その髪型が似合いすぎてか桐朋生のみならず大学生からいじられることもしばしば。そんな実績、気合ともに十分な国沢選手は果たして優勝できるのか、彼が駒ヶ根を全力で駆け抜け、勝負する姿とともにそんな優勝争いにも注目したい。

桐朋高校 OB 長井健太

#### <彼のオリエンのポイントはコレ！>

あくまで個人の見解であり、おおよその評価である。オリエンにはキレがあり、ポスト周り

などでミスらずうまく決まるとペースに乗れて非常によいレース展開ができる。インターハイ本番ではいまひとつペースに乗れない時にも崩れず、レースをまとめられるか、緊張していても落ち着いてもつたいないミスをしなないかが勝利へのポイントとなる。

桐朋高校 OB 久保田皓貴

<応援メッセージ>

リスク(髪)を恐れぬ楽の男気、駒ヶ根で見せつけろ！

桐朋高校 OB 柴沼健

髪の毛を守り抜け！！

公文国際 OG 山岸夏希

「ライオンに追いかけられるウサギは肉離れしない」この言葉を肝に命じ「走るオリエン」でインターハイという大舞台を頑張ってください！！

現桐朋高校三年 早川和秀



大石洋輔

桐朋高校二年

桐朋の主将、

熱い気持ちで

狙うは日本の頂点

#### Data

---

競技歴 5 年

---

昨年度インターハイ ME 五位

---

1500m 4 分 55 秒

---

#### <選手紹介>

桐朋高校の主将、今年の部内杯では二位と 10 分差以上つける圧倒的な走りで見事優勝。桐朋高校を役職面でも、また技術面でも先頭に立ってけん引してきた選手である。オリエンテーリングの熱も人並みではない。また、愛らしい外見でみんなから愛される彼は今年の文化祭で女装ナンバーワンを決める「ミス桐朋」にも出場した。高校生になってオリエンテーリングの実力が開花しジュニアの中でも注目を受けるようになった彼は昨年度のインターハイ ME クラスで高1ながらに五位を獲得し、見事表彰台に上った。この順位は今年のインターハイ ME クラス出場者の中でも最高位である。その後も数多くの主要な大会で高い順位を獲得し、インターハイ優勝候補と呼ばれるにふさわしい実績を得た。そんな情熱も実績も十分な彼がどこまで順位を上げられるのか、必見である。

桐朋高校 OB 長井健太

#### <彼のオリエンのポイントはコレ！>

あくまで個人の見解であり、おおよその評価であるが、特に技術や地図読みでの評価が高い大石選手。しっかりとした技術に裏付けされた自分のオリエンテーリングを持っている。インターハイ本番ではメリハリのある走りをする事、緊張する中でも自分のオリエンテーリングをして、存分に力を発揮できるかが優勝の鍵になるだろう。

桐朋高校 OB 久保田皓貴

<応援メッセージ>

インタビューの画像ごめんなさい( )でも、最速のミス桐朋とかイケてると思います！頑張れ！

桐朋高校 OB 柴沼健

駒ヶ根の女神も大石ならイチコロだよ！

公文国際 OG 山岸夏希

あまり言うことはありません。普段通りの力を出せれば優勝間違いなし！コンディションを合わせて頑張ってください！！

現桐朋高校三年 早川和秀

第 28 回  
全日本高等学校・  
中学校オリエンテーリング選手権大会  
観戦ガイド  
～終わり～